

イチョウのちょうちょとタンポポ



1まい1まい色のちがう
葉えらびを楽しんで



イチョウは恐竜の時代からすでにあった、世界でもっとも古い木といわれています。秋のおわりから冬のはじめにかけて、葉は明るい黄色にそまり、風が吹くとちょうちょのように空へ舞い上がります。緑が少しのこった落ち葉をちょうちょのはねにしました。

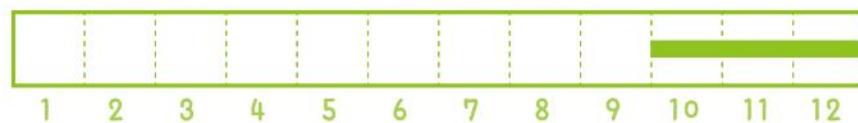
分類 イチョウ科

特徴 落葉高木

環境 公園、市街地の道路

遊べる時期 10~12月

遊べる場所 日本各地



用意するもの

【ちょうちょ】

○葉…1まい(柄の長いもの)

【タンポポ】

○葉…2まい(内側に緑色がのこっているもの、緑色のもの)



【ちょうちょを作る】



半分に折る。



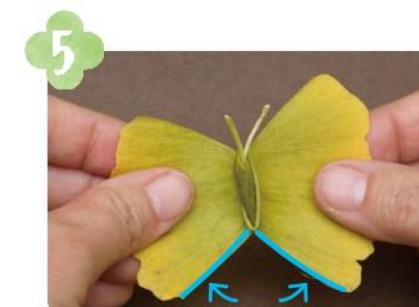
柄のつけねのあたりを折りあげて、からだを作る。



柄をからだに巻きつけ、柄のつけねの輪に通す。



柄をていねいに裂いて、触角を作る。



葉を水色線にそって2つに裂いて、はねを広げる。



緑色がのこる葉を半分に折り、さらにじゃばら折りにする。



葉の根もとをひと結びにする。



葉の先をこまかく裂き、1まい1まい広げて花を作る。



緑色の葉を6つくらいに裂き、ひらいてタンポポの葉を作る。花をおく。

ナンテンのツル

えんぎのいいナンテンで、
お正月をお祝い!



冬に赤い実をつけるナンテンは、「難を転ずる」えんぎ物の木として古くから玄関前などに植えられてきました。殺菌効果があり、お赤飯やおせちのかざりとして使われています。おめでたい組み合わせのナンテンのツルはお正月の草花あそびにぴったりです。

分類 メギ科

特徴 常緑低木

環境 山野、庭

遊べる時期 10~2月

遊べる場所 本州~九州

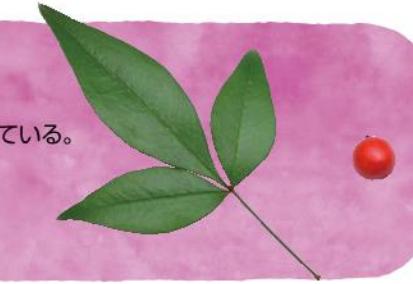
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	----	----

用意するもの

○葉…3まい(柄つき)

※3まいの小葉が1組になっている。

○実…1こ



葉っぱえらびのポイント

折るとハサキとわれてしまう葉もある。
事前に折ってたしかめてみよう。

1



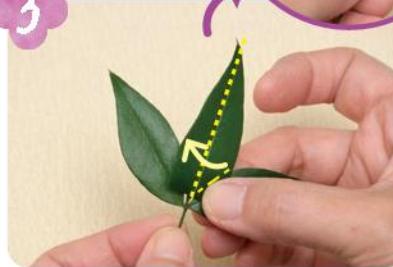
まん中の葉を、つけねから1セ
ンチくらいのところで谷折りに
する。

2



つけねの位置で、上に折りあげる。

3



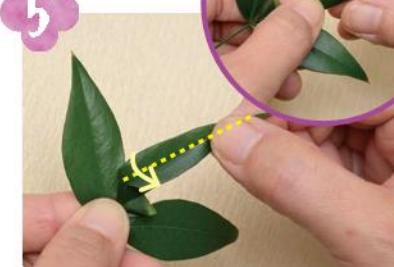
葉脈にそって谷折りにし、ふく
ろ部分を折りつぶし、三角形に
する。

4



反対側も③と同じように折る。

5



③④で折ったツルの首部分をさ
らにそれぞれ半分に折る。

6



頭を葉のあいだに折り下げる。

7



左右のつばさで胴体をはさみ、葉
のつけねをおさえて形をつける。
本などをしばらくのせててもよい。

8



実の中のたねをよけて、柄を通す。

殺菌効果のあるナンテンの葉は、
おせちのかざりにぴったり!



ツバキのおひなさま

きれいなままポトリと落ちる
ツバキの花を使って



ツバキは冬から早春にかけて花を咲かせる植物のひとつです。花の色は赤をはじめ白やピンクなどがあり、花びらを散らさずに咲きおわり、花の形のまま落ちるのが特徴です。きれいな花をひろって紅白のひな人形を作りました。

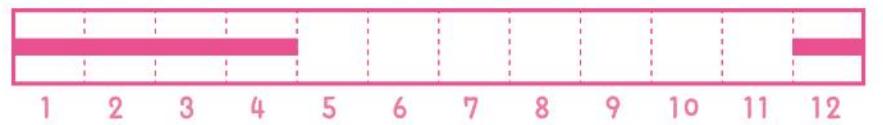
分類 ツバキ科

特徴 常緑高木

環境 山野、庭

遊べる時期 12~4月

遊べる場所 本州~九州



用意するもの

○花(赤)…1こ

○花(白)…1こ

○おしべ(花から花びらをすべてとりのぞいたもの)…1こ

○つぼみ…2こ

○小枝…2本

○葉…3まい



1



つぼみの外側の皮をむいて、きれいな緑色にする。

2



つぼみの下のかたい部分をとり、小枝を下からさす。

3



花びらをとりのぞいたおしべを写真のように切る。葉のギザギザをノコギリのようを使うと便利。

4



切りとったおしべの一部を中心の穴にさす。

5



2のつぼみの顔におしべ全体をかぶせる。

6



花びらを軽く広げ、めびなは5の枝を赤の花の上からさす。おびなは2の枝を白の花の上からさす。

7



葉を写真のように切りとる。

8



葉をたて半分に切ってぐるりと巻き、巻きおわった柄を葉に穴をあけてさす。

9



めびなは花に小枝で穴をあけて、おうぎをさす。おびなはかんむりをかぶせ、しゃくをさす。